

EU 編

【1】エコデザイン指令（ErP 指令）及びエネルギーラベル規則——「持続可能な製品のためのエコデザイン規則案（ESPR）」、適用範囲と要求事項を大幅に拡大——製品系 全 10 ページ

法律/政策の名称	サンプルのためリンクは省略 A. ErP のエコデザイン要求事項を設定するめ... B. エネルギーラベリングの枠組みを設定...	サンプルの ため省略
現地語名称	A. DIRECTIVE ■■■/EC OF ... of ecodesign requirements for ... B. REGULATION (EU) ■■■ .. for energy labelling and repealing	サンプルの ため省略
公布/施行日等	A. 2009 年 10 月 31 日公布、公布から 20 日後に発効 B. 2017 年 7 月 28 日、2017 年 8 月 1 日発効	
カバー期間	2021 年 12 月初めから 2022 年 5 月終わり	

バックグラウンド情報

EU では、欧州委員会の「欧州グリーンディール」（2019 年 12 月発表）と「新しい循環型経済行動計画」（2020 年 3 月発表）を基盤として、循環型経済への移行に向けた包括的な法的枠組みの構築が急ピッチで進められている。その中で、EU 市場に製品を出す企業にとって特に重要性が高いのが、2020 年 9 月に開始された「持続可能な製品イニシアチブ（SPI : Sustainable products initiative）」である。これは、欧州グリーンディールや新しい循環型経済行動計画の目標に照らして、製品の設計・製造・販売のあらゆる側面を変革し、「持続可能な製品を EU 市場のスタンダードにする」ことを目的とするものである。この一環で、エコデザイン／エネルギーラベル政策をはじめとする EU の製品関連政策が、徹底的に見直されている。本報告期間中、エコデザイン指令の改正案をはじめとする一連の法案がついに発表された。

最近の主な動向

■「持続可能な製品イニシアチブ」パッケージ

欧州委員会は 2022 年 3 月 30 日、「持続可能な製品イニシアチブ」に関わる一連の法案や政策を発表した（表 1 参照）。本稿では、欧州市場に製品を上市する日本企業全般にとって関連性が高いと思われる、No. 1～3 の法案／計画（表の中の水色背景で示されている部分）について、次ページ以降にそれぞれの概要をまとめる。

表 1 「持続可能な製品イニシアチブ」パッケージの構成内容

No.	法案／政策名称	関連文書 URL
0	持続可能な製品イニシアチブ全般	
1	持続可能な製品のためのエコデザイン規則（ESPR）案	サンプルのため URL は省略
2	エコデザイン／エネルギーラベル作業計画 2022-2024	
3	グリーン移行に向けた消費者のエンパワーメントに関する指令案	
4	持続可能で循環型のテキスタイル（繊維製品）に向けた EU 戦略	
5	建設製品規則案	

（出所：欧州委員会の情報をもとに EnviX 作成）

以下に各項目について説明する。

1. 持続可能な製品のためのエコデザイン規則案——「持続可能な製品を標準に」

持続可能な製品のためのエコデザイン規則（**Ecodesign for Sustainable Products Regulation**、以下「ESPR」という）案は、現行のエコデザイン指令 [2009/125/EC（2009 年公布・施行](#)、以下「現行指令」という）を改正し、市場監視の取り組みを強化しながら、製品設計、報告やラベリングに関する新たな枠組みを構築するものである。なお、法令の種類としては、国内法への置き換えが必要な「指令（Directive）」から、すべての加盟国に直接効力を持つ「規則（Regulation）」に格上げされている。

ポイントその 1：二つの方法でエコデザインを拡張

基本的な規制方法は現行指令に準じているが、適用範囲と要求事項が大幅に拡大されている。現行指令と ESPR の間の主な相違点を表 2 に示す。

表 2 持続可能な製品のためのエコデザイン規則（ESPR）案：二つの方法で現行指令を拡張

	現行エコデザイン指令 (2009/125/EC)	持続可能な製品のためのエコデザイン 規則（ESPR）案
適用範囲	エネルギー関連製品（ErP：Energy-related Products）のみ	サンプルのため省略
エコデザイン要求事項	主として製品のエネルギー効率に焦点を当てている（ただし、最新のエコデザイン実施措置では資源効率要件も採用されている）。	...サンプルのため省略...

（出所：ESPR 案をもとに EnviX 作成）

以下は、サンプルのためポイントの小見出しのみ示し説明は省略...

ポイントその 2：すべての規制対象製品でデジタル製品パスポートを義務化

表 3 持続可能な製品のためのエコデザイン規則（ESPR）案：デジタル製品パスポートの概要

項目	概要
適用範囲	エコデザイン規制対象の...
義務の主体	製品パスポートの利用可能性を保証する義務を負う者、
記載情報	製品パスポートに記載される情報の種類は、...
モダリティ	製品パスポートのモダリティも同様に、製品グループ別に採択される...。例えば、...
アクセス権	製品パスポートに記載される情報へのアクセス権は、これも、製品グループ別の委任法令の下で規定される。

...サンプルのため
省略...

（出所： ESPR 案をもとに EnviX 作成）

ポイントその 3：売れ残り製品の破棄を防止

...サンプルのため省略...

ポイントその 4：水平的エコデザイン要求事項を導入

...サンプルのため省略...

ポイントその 5：罰則は加盟国レベルで規定

...サンプルのため省略...

2. エコデザイン／エネルギーラベル作業計画 2022-2024

上述の通り、ESPR は適用範囲の拡大を予定しており、欧州委員会は、これに合わせて 2022 年末までに、対象製品の選定プロセスを開始することを予告している。これに並行して、ESPR の下で第一次 ESPR 作業計画が策定されるまでの期間は、現行指令 (2009/125/EC) に準じた作業計画の実施が継続される。欧州委員会はこの目的で、同じく 3 月 30 日、「エコデザイン／エネルギーラベル作業計画 2022-2024」を採択した。作業計画 2022-2024 の概要と、現在わかっている範囲での第一次 ESPR 作業計画の概要を表 4 に示す。

表 4 今後のエコデザイン／エネルギーラベル作業計画の概要

適用される 作業計画	作業の種類	対象製品グループ
エネルギーラベル 環境 製品	実施措置の改正	特に以下を優先して進める。 ...サンプルのため省略
	過去の作業計画の枠組みで新規調	進行中の以下の作業は、作業計画

	査対象に指定された製品	2022-2024 に引き継がれる。 ...サンプルのため省略... • スマート家電：「行動規範」
	作業計画 2022-2024 の枠組みで新規に調査対象として指定された製品	...サンプルのため省略... • 電気自動車用充電器
第一次 ESPR 作業計画	- ESPR が成立すると、.... - 暫定候補として、繊維、.... が挙げられている。 - 欧州委員会は 2022 年末までに 公開協議を開始する予定。	

(出所：欧州委員会の情報をもとに EnviX 作成)

3. グリーン移行に向けた消費者に権限を与える指令案

本指令案は、以下の 2 つのことを目的として、現行の 2 つの指令を改正するものである。

(1) 消費者が、...サンプルのため省略...

(2) 消費者を...サンプルのため省略...

消費者は、違反があった場合に救済を受ける権利を有するようになる。

表 5 グリーン移行に向けた消費者のエンパワーメントに関する指令案の概要

(1) 製品の耐用年数と修理性に関する情報を購入前に消費者に提供することを義務付け	
改正対象法規	「消費者の権利に関する指令 2011/83/EU 」(改正法：指令 (EU) 2019/2161)
主な措置	取引業者 (trader) に対し、製品の耐用年数や修理性に関する下表記載の 5 つの情報を、 購入前に 、明確かつ理解しやすい方法で消費者に提供することを義務付ける (第 2 条) ...サンプルのため省略...
(2) グリーンウォッシングと計画的陳腐化の禁止	
改正対象法規	「不公正な取引方法に関する指令 (UCPD) 2005/29/EC 」(改正法：指令 (EU) 2019/2161)
主な措置	- 取引業者が消費者に誤解を与えてはならない製品特性リストを拡大する。耐用年数や修理性だけでなく、環境や社会への影響も考慮される。 - 以下の 5 項目を含む不公正な商慣行を禁止する (いわゆる「ブラックリスト」に追加する)： (1)~ ...サンプルのため省略... (5) メーカー純正ではない消耗品、スペアパーツ、付属品を使用した場合に製品の機能が制限される旨を明記しないこと。

(出所：グリーン移行に向けた消費者のエンパワーメントに関する指令案をもとに EnviX 作成)

今後の展開とスケジュール

No.	法案／政策名称	Procedure Ref.No.	今後の展開とスケジュール
1	持続可能な製品の ためのエコデザイン規 則（ESPR）案	2022/0095 (COD) 通常立法手 続	欧州委員会は、6月22日までフィードバックを 受け付けている。 ...サンプルのため省略... 審議状況は以下のリンクで見ることができる。 EUE-lex 、 欧州議会 Legislative Observatory
2	エコデザイン／エネ ルギーラベル作業計 画 2022-2024		本作業計画は3月30日に採択され、5月4日の EU 広報 に公示された。 次期作業計画（第一次 ESPR 作業計画）の対象 製品グループに関する公開協議が、2022 年末ま でに開始されることになっている。
3	グリーン移行に向け た消費者のエンパワ ーメントに関する指 令案	2022/0092(COD) 通常立法手 続	成立した場合、...サンプルのため省略...24 か月 以内にそれらの規定を適用するものとする。 審議状況は以下のリンクで見ることができる。 EUE-lex 、 欧州議会 Legislative Observatory

（出所：欧州委員会の情報をもとに EnviX 作成）

EnviX 展望と見解

ESPR は、これから通常立法手続きに従って欧州議会と EU 理事会で検討されるが、今後の審議の過程で、より具体的で野心的な要求事項が提案される可能性もあることに留意する必要がある。その兆候はすでに、3月31日に行われた欧州議会の環境・公衆衛生・食品安全委員会（ENVI）（注：本件の欧州議会内の所轄委員会）と欧州委員会の Sinkevičius 環境担当委員の間の[最初の意見交換の場](#)で確認されている。...サンプルのため省略...

ESPR の採択後、欧州委員会は対象製品グループについての委任法の制定を開始することになる。EU 市場で製品を製造・販売する企業は、こうした動きを見据えながら、自社製品の仕様が将来のエコデザイン要求事項を満たすのに十分な持続可能性を備えているかどうかをタイムリーに評価し、対応する必要がある。また、製品デジタルパスポートの導入に伴い、製品設計、サプライヤー／使用材料に関する企業のデューデリジェンス手順が精査される可能性があることにも注意しなければならない。

...サンプルのため省略...、具体的な要求事項への対応が必要となるまでには、大方の企業にはある程度の時間的猶予があると見てよいだろう。

ただし、例外がある。ESPR によって新規に規制の対象となる製品（欧州委員会の予備的評価の結果では、繊維、...サンプルのため省略...、今からエコデザイン／エネルギーラベル規制の枠組みを理解し、これに慣れておくとともに、第一次 ESPR 作業計画の策定動向に

特に注意を払い、必要に応じてそのプロセスに関与していく必要があるだろう。このための直近のマイルストーンは、年内に開始される予定の、第一次 ESPR 作業計画の対象製品グループに関する公開協議である。

それから、売れ残り製品に関する情報開示義務については、ESPR の発効と同時に、すなわち委任法の発効を待たずに、関連するすべての経済事業者に適用することが提案されているので、注意が必要である。

【2022.05.27 et】

